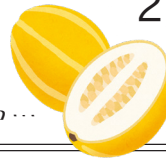




いわき探検記

2022年8月号 (Vol.6)
地域おこし協力隊
辻村 春香

スイカは苗作りで失敗したけれど「畝」はうちの畑でひそかに成長中…



こんにちは！ 岩木地区地域おこし協力隊の辻村です。

7月後半、ようやく梅雨が明けたと思ったら連日の暑さ…。かと思ったらまた雨…。

ほんと、妙な気候ですね。

7月はなんだかあっという間に過ぎ、締めには夏祭り。岩木夏祭りでは勝手にわからないながらも精いっぱいスタッフとして参加させていただきました。

今月は8月以降に実施していく事業の告知から始めさせていただきます。

告知

①五代で居場所づくりをはじめます

着任直後からずっと、岩木地区に「第3の居場所」と呼ばれる場所がないことが気がかりで、何とかしてつくりたいと考えていました。

地域の方のご縁を得て、「みんなの居場所 ステップ44」という任意団体ができました。

団体が五代の集会所を開放し、おしゃべりの場や遊びの場をつくります。年齢も性別も職業も関係ないので、ふらりと遊びに来ていただけたらと思います！

第1回目の開催予定は9月10日(土)14時～。

詳細が決まりましたら、改めてお知らせします。

お楽しみに！



五代多目的集会所

②藍染めのワークショップを開催します

高屋で借りている畑で、藍が無事に育ってきました。畑近くの「ゆめみるこぎん館」で、生葉を利用した、染めのワークショップを開催します。【事前予約制】

8月28日(日)・29日(月)

(各日10時～、13時～の2回。各回5名限定)

ハンカチ 2,000円、ストール3,000円

材料費とこぎん館の見学料として、料金がかかりますが、ご興味のある方、ぜひいらしてください。

申込み Tel: 82-1621(岩木総合支所 総務課)



数年前に藍の生葉染めたストール等

都合により記事を削除いたしました。

地域とのかかわり

①五代獅子舞保存会の練習&発表を見学しました

5月に田植えに参加させていただいた鈴木農園さんのご縁で、五代の獅子舞を見学させていただきました。参加者は、小学生～94歳と幅広い世代！！もとは五代町会の方が中心だったと伺いましたが、近年は近隣町会のみならず、五代の獅子舞に魅せられた市街地の方も加わって、伝統芸能の継承に熱意を注いでおられるそう。

初めて見学させていただいたのは7月初め。小学生の3兄弟が元気に走り回り、練習の時はちょっとゴネながら（笑）も踊り上げ、夏祭りに備えていました。

夏祭り本番では、先輩のお兄さんたちと一緒に、3兄弟も一生懸命、獅子舞を舞っていましたよ♪



岩木夏祭りにて。後列が小学生3兄弟。

②一町田の数珠回しを見学&参加

年の決まった日、地域の地藏堂でご婦人たちが行っていた数珠回し。民俗学的には「百万遍」と言われ、岩木の各所に「百万遍」と書かれた石碑が建っています。

先日、この「数珠回し」が今もおこなわれていることを知り、7月21日に一町田集会所で一緒させていただきました。

決まった唱え文句を50回、目印のついた数珠を回しながら、歌うように唱えます。

この日はコロナが急激に増えてきたころ。なので、代表者の方が小さい数珠で数えながら唱えました。

（通常は直径3～4mもある大数珠をみんなで回しながら唱えるそうです）

愛宕・宮地・高屋などでも続いていると聞き及びます。

地域の文化として、多くの方に知っていただき、受け継いでいきたいものですね。



数珠回し。音頭をとる人・数える人がいる。

農業関係

人の畑より、まず、足元の自分の畑…

7月はあまり農家さん訪問ができませんでした。

むしろ、自分の畑がもう大変！

草、草、草・・・！

一町田に借りている畑は草ぼうぼう。（横町畑より、かなりひどい…）田んぼの土質なので、雨が降った後はぬかるんで足元取られます。で、7月の雨で躊躇してたらこんな姿に…

一町田は南瓜と大豆と雑穀を植えました。あいにく南瓜は雨が多すぎて根腐れか…、枯れてしまいました。

大豆と雑穀は草にまみれただけでなく、雑穀は雑草と見分けがつきにくい！

7月中はハトムギだけ、何とか救出いたしました。

8月第1週に、残り的大豆・ヒエを救出。アワがもはや姿がわからず…。地道な草刈りは大事ですね。

来年の畑は、刈払い機を導入することを検討しています。

草ぼうぼうの畑から、大豆（の一部）とハトムギ救出…



こぎん

①ベニバナ&アイの栽培（高屋の畑）

ベニバナは順調に育ち、7月中旬から花が咲き始めました。アイは雨を吸って、モサモサ感満載になってきました。ベニバナは花弁を、藍は葉を染料として染めに使います。ベニバナの収量は染料にできるほど多くないので、摘み取って、花びらを乾燥させています。ベニバナはお茶になり、種子からは油もとれるらしい…。どう使うかが、現在思案中です♪

アイについては1ページのとおり、ワークショップ開催にチャレンジできるほど成長してきました。



ベニバナ。1株にたくさん咲く。

②麻糸績みの研修を受けてきました



こぎん刺しの布は麻布。どんな工程を経て、アサの繊維から布に織りあがっていくのか…？わからないので、教えてくれる場所に行ってきました。使用するのには、免許を持っている農家さんが育てた日本大麻の茎の部分。茎と種は流通品で、一般人でも所持できます。茎を下処理したものから繊維を分け、繊維と繊維をつないで1本にしていき、撚（よ）りをかけて強くする。細かい作業で、何とか先生に教えていただきながら、かなり細い糸をつくりました。

先月は真土の佐藤陽子さんのところで、今月は高屋のゆめみるこぎん館で見た“古作こぎん”。

研修でようやく作った糸と、ほぼ同じ太さで織られた布でした。研修で作った糸はわずか数グラム。野良着に使う布を織るには、1.6キロもの糸が必要だと教わりました。それだけの糸をつくるにはどれだけの時間を要するのでしょうか？

先人たちは家族のためにアサを裂き、糸にして機にかけ、布をつくって藍に染めてからこぎんを刺していました。

糸をつくったり布に織り上げる方法は、地方色が豊かだとも、研修で教わりました。「おばあちゃんが作業していたのを子供のころ見ている」「家に道具が残っている」という方、お話を聞かせてください！



梅仕事

「昔はどここの家でも庭や畑に梅の木があって、自分の家で梅仕事をしたものだ」と、昨年の活動中に伺いました。

今年は、一町田の畑でお世話になっている方から梅を分けいただきました。

いただいた梅で、梅仕事にチャレンジ。昨年よりもバージョンアップしました。まだまだ2年生なので、試行錯誤の繰り返し。

梅干しは普通の漬け方と、焼酎を使った減塩・酢を使った減塩の3つを試しました。

7月末に“干し”の作業をしました。…味見はこれから。

梅ジャムは青梅で状態が悪いもの（傷がついたり、保管中に茶色くなり始めたもの）の良い部分を残して、一度茹でてアクを取り、改めて煮溶かしたものから種を除いて砂糖・レモン汁を加えてつくりました。

熱い状態だと甘みがどれだけ残るかわからず、砂糖の塩梅が…。結果、酸味強めの甘さ控えめジャムになりました。



◆◇ 編集後記 ◇◇

7月は忙しい、と初旬から感じていたところ。ほんとにバタバタな1ヶ月でした。月末には1日だけとはいえ、無事に岩木の夏祭りを実施できました。コロナ感染の蔓延状況は予断を許さない状況ではありますが、これからはコロナと共に生きるためにいかにすべきか、という時期が来た、という考え方もできるかと思います。感染したり、病状が思わしくない…、ということになる前に、“根本的に免疫力を上げる”ことが肝要と思います。みなさま、一緒に乗り切りましょう！！

WANTED

空き家を探しています！

探しています！



岩木地区に農業体験等のできる拠点を作りたいと考えております。地域内外の人と交流できるスペースとしたいので、空き家を探しています。

(物件への要望)

- ・ 退任後の居住を見据え、賃貸契約にて貸していただける物件。
- ・ 部屋数多め (6 室以上あると嬉しい)。
- ・ リフォーム・リノベーションをしてもよい。
- ・ 車庫や倉庫があれば、なお嬉しい。
- ・ 立地：岩木地区内で、“少し足を延ばせば” 里山や畑に行ける場所。
- ・ 賃料やその他条件⇒相談させてください。

「空き家になる予定があって…」 「親せきに管理まかされているけど…」 「1 部屋だけは立入禁止にしたいけど、それ以外は使ってもらっていいんだけど…」 など。

情報があれば、まずはご一報いただき、お話しさせていただきたく思います！

梅や柿などの果樹

岩木地区内を歩いていると、放置された果実をよく目にします。庭やリンゴ畑の隅に植えたんだけど、さまざまな理由で収穫されず、放置されている果実たち。

一方で、市街地に住んでいる方からは「梅が手に入るなら、梅干しを漬けてみたい」「庭に柿があるなら、干し柿作りにチャレンジしたい」という声を聴きます。

そこで…、その2者を結びつけるワークショップを企画したいと考えています。

“手が回らなくて採りきれしていない果実 (梅、杏、プルーン、柿など) があって困っている方” を探しています。

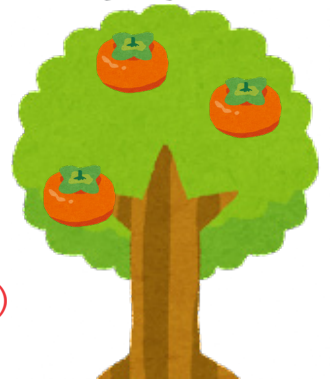
果実を分けていただけたらな、と。

枝切り等必要であれば、方法を教えていただきながら、作業もしたいと考えています。

最終的に、収穫物・加工物を何割かお返しする形で、お礼する予定です。

「提供してもいいよ！」という方いらっしゃれば、お声がけください。

“果実採りたい (隊)”
をつくりたい…



もろもろ情報
お待ちしております！

連絡先
岩木総合支所 総務課

地域おこし協力隊 辻村まで

Tel: 0172-82-1621

Mail: har-tsuji@city.hirosaki.lg.jp



「いわき探検記」が、協力隊のホームページに掲載されました！

こちらから、バックナンバーがご覧いただけます♪